

京都教区時報

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-4345

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

2頁 多国籍共同体に向かう事例 大和八木教会

3～5頁 京都司教区現勢報告

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジ
ナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さ
んまでお申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



愛する（奉仕する）教会

大塚司教は今年の年頭書簡の中で、次のように言われています。

『エウカリスチア（聖体）の「いけにえ」の考察は、私たちが、キリストと共に御父から受けた賜物を喜んで受け入れ、同時にその賜物によって兄弟姉妹に仕える「愛する教会」を目指すことを教えます。』

私たちは神さまから恵みを頂くだけでなく、神さまがすべての人々を愛されていることを行動をもって表す必要があります。具体的には、人々への奉仕の行動です。イエスがみずからのいのちを捧げることによって、人々に奉仕されたように、私たちも回りの人々に奉仕することが求められています。おかげさなことだけでなく、身近なところで、私たちにできることを探しましょう。

（瀧野正三郎）

（写真は阪神・淡路大震災のときの奉仕活動の風景です）

4
2005

多国籍共同体に向かう事例 大和八木教会

佐藤 蓉子

大和八木教会でフィリピン人たちを見かけるようになったのはもう二十四、五年以前になるでしょう。教会の外でもよく見かけるようになり、間もなく南米の人々も、教会で、町でと見かけられるようになりました。このように外国人が多くなってくると、外国語ミサが大和八木教会でも行われるようになり、また、

外国語のミサのとき、彼らが母国語で歌う聖歌、ミサ後に思いの丈を一気にしゃべり笑い合っている姿に大きなパワーを感じていました。でも一体、なぜ日本にこんなに大勢の外国人が来ているのだろうと素朴な疑問もありました。

ちょうどその頃、テレビで「日本における外国人労働者の流入について」の番組がありました。番組の中で、原因、対策、ヨーロッパにおける外国人労働者の動向と日本とを比較しながら進められていきました。いまや外国人が生活の糧を求めてどこへでも移動する社会になってきているのがよくわかりました。

ことば、文化、子どもの教育などの違いから摩擦が移動者と現地住民の間に生じ、それが高じてストレス、苦悩を抱え込んでしまつた家族の紹介もありました。その番組中、日本の経済学者が「世界の中で、経済の流れと人の流れは一致する。その流れはだれも止められないものでないものである。」と言っていたのが強く印象に残っています。この日本に生活の糧を求めて、世界のあちこちから移動者として来住している現象は当然続くことでしょう。かつて、日本人が北米、南米に移住したときのように。

自国を出て、外国で生活するということとは、その地に慣れるまで多くの困難を伴うことは容易に想像できます。その困難に耐えかねて教会に救いを求めて来られることがあります。そのような時に、一人の力では限界でも、何人かの手を合わせれば、自立に向けての歩みにつながることがあります。せっかくの日本での出会いに、共に泣いたり共に喜んだりしながら歩めたらいいなあと思います。

大和八木教会の外国語ミサ

英語

第三日曜日十四時

スペイン語 第一日曜日十四時

ブロック紹介

京都南部地区・南ブロックB

宇治教会 大森 徹

南ブロックBは、二〇〇一年四月に京都教区最後の共同宣教司牧になったブロックである。小教区の個性を生かしながら歩み始めているが四教会それぞれが課題を抱えており共同宣教司牧に移行するのに時間を必要としている。但し、最後に共同宣教司牧になったから遅れているのではなく、長年かけて共同宣教司牧を推進して来た他ブロックの担当司祭、奉獻生活者、信徒の痛みや失敗の経験による試行錯誤の成果を手本に出発できたというメリットもある。

ブロックの特徴として、担当司祭と教理担当者（奉獻生活者）が毎月一回、信徒の信仰養成についての話し合いを持っている。また、ブロック会議では各小教区信徒代表が小教区の意見を持ち寄りブロックの活動を行っている。担当司祭、教理担当者、信徒がそれぞれの役割と責任を果たしながら共同歩調を取っている。

ブロックとしての活動も盛んになりつつあり、海外援助についての講演会、婦人会主催の年二回の

黙想会、青年会主催の交流会・黙想会、子供の信仰教育として各小教区で教会学校も行い、ブロック主催の夏期学校・新年会（かるた大会）なども行っている。

各小教区において、求道者、また信徒を対象にしたキリスト教講座、聖書クラス、ブロックとして、祈りの集い（沈黙の祈り・聖体礼拝）、祈りを学ぶ会、合同聖歌練習、奉獻生活者を講師に招き、中高生の親の世代の信仰養成を目的とした「からしだねの会」も行っている。典礼についても、合同典礼部会を定期的に行っている。共同宣教司牧になってから、祈りと学びの場が充実したように思う。当ブロックにも問題点と課題がある、先に述べた活動はまだまだ一部の信徒の参加に過ぎない。また、大半の四教会の信徒間での交流は希薄である。

そこで、今年から四季に合わせた輪番制にて四つの教会を開催場所とした研修会・黙想会を行うことにした。この場での祈り、学び、分かち合いを通じて、四教会の交流を行い、担当司祭、奉獻生活者、信徒による共同宣教司牧の推進と充実に向けて共に歩んで行きたい。

カトリック京都司教区現勢報告書(2004年1月1日~12月31日)

I. 概 況

面積: 18,097.98km² (京都府、滋賀県、奈良県、三重県)
 人口: 7,326,922人
 信者総数: 19,046人
 求道者: 239人
 小教区: 54
 巡回教会: 3

II. 人員構成

司 教 2

司祭・修道士 () 内は助祭、修練者及び志願者数

		司 祭		修 道 士	
		日本人	外国人	日本人	外国人
教 区		17	0		
宣 教 会	メリノール会	0	7		
	グワダルベ会	0	3		
	フィリピン会	0	3		
修 道 会	ヴィアートル会	1	3	1 (1)	4
	エスコラピオス会	0	4	0	2
	カルメル会	4	1 (1)	0 (1)	0
	ドミニコ会	2	0		
	マリスタ会	1	6		
	レデンプートル会	4	1	1 (3)	0
	フランシスコ会	0	1		
	サレジオ会	2	0	2 (17)	0
	イエズス会	2	1		
	淳 心 会	0	1		
上記以外の所属の教区内居住司祭		0	5		
プレラトゥーラ・ベルソナーリス オブスディ		1	1		
		34	37(1)	4 (22)	6

神学生・哲学生

	日本人	外国人
教 区	2	0
修 道 会	0	0
合 計	2	0

在俗会

	日本人	外国人
聖母カテキスタ会	17	0

伝道師

	男	女	合計
信 徒	2	3	5
修 道 者	0	6	6

修道女

() 内は修練者及び志願者数

	日本人	外国人
イエスの小さい姉妹の友愛会	3	0
ウイチタの聖ヨゼフ修道会	24(2)	3
ショファイユの幼きイエズス修道会	13	0
カルメル修道会	18	0
カロンデレットの聖ヨゼフ修道会	10	1
聖母訪問会	11	0
聖ヴィンセンシオの愛徳姉妹会	3	0
ヌヴェール愛徳修道会	32	0
ノートルダム教育修道女会	62	2
メリノール女子修道会	2	5
聖ドミニコ女子修道会	8	0
聖ドミニコ宣教師修道女会	7	0
隣保聖体修道会	0	2
無原罪の聖母フランシスコ姉妹会	0	6
カルメル宣教師修道女会	0	4
聖ウルスラ修道会	0	1
善きサマリア人修道会	5	0
聖心のウルスラ宣教師女修道会	8	2
マリアの娘エスコラピオス修道女会	2	2
合 計	208(2)	28

III. 施 設

() 内は信徒数

	保 育 園	6	園 児 数	879(26)
社 会 福 祉 施 設	年 間 延 べ 人 数			
	保育園以外の 児童福祉事業	4	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	43,289(4) 49,733(0)
	老人ホーム	8	宿泊を伴う利用者数	567(119)
	老人ホーム以外の 老人福祉事業 その他の 社会福祉事業	28 6	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数 宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	2,128(41) 151,616(1,031) 147(48) 5,459(1,950)

教 育 施 設	幼 稚 園	23	男 子	1,756(32)
			女 子	1,935(33)
	小 学 校	2	男 子	757(23)
			女 子	1,178(24)
	中 学 校	6	男 子	923(22)
			女 子	1,626(20)
	高 等 学 校	9	男 子	1,723(29)
			女 子	2,525(33)
	短 期 大 学	1	女 子	892(11)
	大 学	1	男 子	3(1)
一 般 施 設			女 子	1,638(30)
	養 護 学 校	1	男 子	51(0)
			女 子	41(0)

一 般 施 設	センター・会館	11	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	357(204) 29,679(10,547)
	学 生 寮	1	利 用 者 数	13(2)
	社 会 人 寮	1	利 用 者 数	5(1)
	黙想の家・研修所	3	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	4,020(2,547) 7,007(2,739)
	そ の 他 施 設	3	宿泊を伴わない利用者数	17,768(11,250)

IV. 小教区概況

教会名	信徒数		ミ	サ	参加	求道者	洗礼		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	2003年	2004年					日曜日	復活祭						クリスマス	幼児
A. 京都府南部															
東ブロック															
1.河原町	1,874	1,809	600	1,400	1,670	62	7	15	20	19	38	116	18	71	86
2.北白川	378	375	130	500	350	17	8	8	11	8	3	20	2	26	11
3.高野	460	470	100	180	190	6	4	8	7	2	11	10	3	13	0
4.山科	339	341	110	150	350	4	0	3	6	3	5	2	3	26	8
小計	3,051	2,995	940	2,230	2,560	89	19	34	44	32	57	148	26	136	105
北ブロック															
5.衣笠	558	545	160	350	500	6	4	6	0	4	7	5	6	23	319
6.宇津	25	15	10	10	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7.山国	20	20	11	5	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.小山	153	153	25	70	70	1	4	0	3	0	0	0	3	7	0
9.西陣	136	153	50	80	160	1	0	1	6	3	4	39	4	6	0
10.西院	541	594	200	360	480	6	6	2	5	1	1	10	5	6	0
小計	1,433	1,480	456	875	1,237	14	14	9	14	8	12	54	18	42	319
西ブロック															
11.桂	544	532	70	130	170	4	0	1	1	2	11	22	2	12	0
12.九条	200	198	50	100	100	0	0	1	1	1	3	2	4	13	1
13.長岡	302	296	70	151	173	6	2	1	0	0	3	7	2	12	0
14.丹波	316	311	60	100	120	6	0	0	0	4	1	2	4	21	7
小計	1,362	1,337	250	481	563	16	2	3	2	7	18	33	12	58	8
南ブロックA															
15.伏見	486	455	135	350	430	5	2	5	7	1	9	13	4	22	4
16.桃山	506	474	78	124	175	12	1	9	6	2	7	7	6	8	0
17.八幡	173	172	30	80	80	0	1	0	0	0	0	1	1	6	0
小計	1,165	1,101	243	554	685	17	4	14	13	3	16	21	11	36	4
南ブロックB															
18.宇治	566	556	120	180	230	10	0	7	3	0	1	3	4	17	0
19.青谷	192	193	40	90	150	1	1	0	0	1	0	0	0	11	0
20.田辺	373	382	100	200	190	2	1	0	2	0	10	2	3	5	0
21.精華	168	165	70	170	220	1	0	1	1	0	0	1	3	4	0
小計	1,299	1,296	330	640	790	14	2	8	6	1	11	6	10	37	0
B. 京都府北部															
舞鶴ブロック															
22.綾部	69	69	25	23	44	1	0	1	0	1	7	2	0	0	0
23.福知山	71	55	10	60	50	0	1	0	0	0	7	22	0	6	3
24.報恩寺	276	274	15	60	110	0	0	0	0	0	2	1	3	13	1
25.西舞鶴	318	313	65	130	150	1	2	1	1	1	3	4	4	19	12
26.東舞鶴	246	249	60	90	130	3	1	1	0	0	7	4	2	9	0
小計	980	960	175	363	484	5	4	3	1	2	26	33	9	47	16
宮津ブロック															
27.宮津	307	307	60	110	120	2	2	1	1	2	2	3	2	10	14
28.岩滝	167	164	40	50	60	0	0	0	0	0	0	1	2	5	0
29.加悦	118	118	50	70	130	2	0	0	0	0	2	0	2	14	0
30.網野	147	145	40	60	60	0	0	0	0	1	0	0	2	7	0
31.丹後大宮	135	136	35	70	60	0	1	0	0	1	1	0	0	5	0
32.峰山	109	110	30	40	60	0	0	0	0	0	2	1	0	5	0
小計	983	980	255	400	490	4	3	1	1	4	7	5	8	46	14
合計	10,273	10,149	2,649	5,543	6,809	159	48	72	81	57	147	300	94	402	466

IV. 小教区概況

教会名	信徒数		ミサ参加			求道者	洗礼		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	2003年	2004年	日曜日	復活祭	クリスマス		幼児	成人						信	未
C. 滋賀県															
湖西ブロック															
33.大津	562	560	100	200	250	2	1	3	3	2	5	8	2	40	2
34.唐崎	278	287	70	160	140	5	3	3	1	0	8	4	1	20	2
35.安曇川	86	87	20	30	25	0	1	0	0	0	1	1	0	4	0
小計	926	934	190	390	415	7	5	6	4	2	14	13	3	64	4
湖東ブロック															
36.草津	861	860	187	466	544	7	24	6	18	5	10	8	3	39	0
37.甲賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38.彦根	215	207	104	195	220	3	11	8	1	1	4	14	3	14	0
39.長浜	91	91	25	110	162	3	13	0	0	1	0	0	0	0	0
小計	1,167	1,158	316	771	926	13	48	14	19	7	14	22	6	53	0
合計	2,093	2,092	506	1,161	1,341	20	53	20	23	9	28	35	9	117	4
D. 奈良県															
北部ブロック															
40.富雄	325	322	85	190	220	1	3	2	2	0	7	10	2	22	0
41.登美ヶ丘	440	415	130	250	280	2	2	1	0	3	2	9	7	4	142
42.奈良	1,014	1,015	260	360	480	6	5	8	6	3	16	16	12	34	5
43.大和郡山	417	397	90	170	200	2	1	1	1	2	3	5	2	18	3
小計	2,196	2,149	565	970	1,180	11	11	12	9	8	28	40	23	78	150
南部ブロック															
44.御所	147	153	40	100	130	2	1	0	0	0	7	0	2	0	0
45.大和高田	447	444	85	250	300	3	7	0	0	0	5	3	1	18	27
46.西大和	280	285	60	150	200	2	4	1	0	1	1	0	1	16	0
47.大和八木	304	300	60	90	110	5	0	1	0	0	0	3	3	11	0
小計	1,178	1,182	245	590	740	12	12	2	0	1	13	6	7	45	27
合計	3,374	3,331	810	1,560	1,920	23	23	14	9	9	41	46	30	123	177
E. 三重県															
北勢ブロック															
48.桑名	282	266	70	150	160	0	2	0	0	2	4	3	2	11	6
49.鈴鹿	263	255	60	80	90	2	16	6	5	3	5	10	0	3	0
50.亀山	40	39	12	15	15	1	6	2	0	2	0	0	1	0	0
51.四日市	787	806	322	708	528	10	50	13	57	12	11	6	6	30	1
小計	1,372	1,366	464	953	793	13	74	21	62	19	20	19	9	44	7
中勢ブロック															
52.津	458	464	155	230	260	10	12	6	13	5	2	7	7	21	4
53.久居	178	174	50	90	110	2	12	2	5	0	1	6	2	8	2
54.上野	201	203	100	120	150	4	12	2	13	2	1	0	0	32	0
55.名張	236	236	65	85	100	0	2	2	15	1	3	2	3	10	0
小計	1,073	1,077	370	525	620	16	38	12	46	8	7	15	12	71	6
南勢ブロック															
56.伊勢	358	373	74	144	169	3	0	4	4	0	13	5	3	12	8
57.松阪	288	302	80	200	300	5	2	21	41	1	5	2	14	0	0
小計	646	675	154	344	469	8	2	25	45	1	18	7	17	12	8
合計	3,091	3,118	988	1,822	1,882	37	114	58	153	28	45	41	38	127	21
総計	18,831	18,690	4,953	10,086	11,952	239	238	164	266	103	261	422	171	769	668
	2003年	2004年	日曜日	復活祭	クリスマス	求道者	幼児	成人	堅信	結婚	転入	転出	死亡	信	未
	信徒数		ミサ参加				洗礼							教会学校	

*甲賀教会の数字は草津教会に含まれている。

2005年2月18日
カトリック京都教区
本部事務局

カトリック福音センター 養成コース



福音センターニュース

祈 り 1

私たちが日ごろ経験する人生に起こる問題や困難、苦しみ悲しみ思うようにならない現実を、どのように受け止めていくか、それは大切なことです。

祈りがこの現実から流れ出ると、生活の中で神とともにある場が与えられ、私たち自身の信仰と日常生活が結び合わされ、豊かないのちへと導いてくれます。

しかし、心に潜む神のイメージが諸問題の受け止め方を左右してしまいます。

今回の祈りのコースⅠは祈りの基本を学び体験します。神のイメージを見直し、自分のあり方、かかわりに気づき、祈る心を育みます。

琵琶湖のほとりであるがままの自分をおき、様々な関わりを建て直してみませんか。

指 導 松本秀友師・福音センター

(シスター・安井昌子／シスター・中山眞里)

日 時 2005年6月3日(金) pm4時～5日(日) 3時半

会 場 唐崎ノートルダム修道院 〒520-0106 大津市唐崎1-3-1
(JR湖西線唐崎駅下車 徒歩10分) TEL 077-579-2884

申込み 5月24日(火)迄に!

郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、

参加費 20,000円 を下記へお振り込み下さい。

郵便振替口座番号 00920-4-161844

「カトリック福音センター養成コース」宛

★★★ 事務所を移転しました ★★★

〒604-8006 京都市中京区河原町通り三条上ル カトリック会館 福音センター

電話番号 075-229-6800 FAX 075-256-0090

Eメール fukuin@kyoto.catholic.jp

わたしの教会の 福音宣教

長岡教会が共同宣教司牧の教会として歩み始めて9年。その間の取り組みをまとめていただきました。

恵美 由紀子(長岡教会)

教会共同体における奉仕と役割分担をはっきりと明記し相互に協力しあう共同体を目指す。

- ① ミサに際して朗読、共同祈願、奉納、侍者、オルガン、聖体奉仕などそれぞれに出来る奉仕を当番制(グループ制)にして多くの信徒が関わるようにしています。
- ② 共同体の役割分担を明確にして各自のタレントが生かされるように、信徒各自がお客様のではなく、「一人一役」を担うことを目指して部署制を導入しました。一つの部署の中に奉仕の内容を細かく設定して2～4つのグループに分けて参加しやすくしているのが特徴です。
- ③ 信徒の柔軟な取り組みと協力関係により、部署制は効果的に定着しました。そして各自が頂いているタレントを生かして互いに奉仕しあうようになりました。また病気などによって部署に入れない人も常に共同体の為に祈ることによって支えて下さり感謝しています。
- ④ 担当司祭団と教会委員(役員団)は定期的に連絡を取りあい、司祭団が判断すべき内容は判断してもらい、信徒が出来ることは極力させてもらっています。また、司祭団士の尊厳と信頼を大切に細やかな配慮は、信徒の大いに手本としているところです。

お互いに養成しあう教会共同体を目指す。

- ① 入門講座の他、信徒養成という観点から98年に「キリスト論」「教会論」を始めて頂き、昨年から「福音宣教の神学」を学んでおり、更に聖母訪問会の協力を得て「祈りの講座」によって各自が霊的に養成されつつあります。
- ② 毎月第4主日はローテーションを組んで2名の集会社式者が集会祭儀を行い、初めの言葉の後20分程度司教年頭書簡に基づいて「分かち合い」を行っています。「分かち合い」が定着していくに従ってお互いの意見を聞くことが出来るようになり、多少の温度差はありますが相互に刷新されてきたと感じられます。

子供たちの教育を教会全体で受け止める共同体を目指す。

定期的に子どもたちの信仰教育と親たちの養成のために来て下さるシスターの協力と指導を受けながら、子どもたちの親が中心となって教会学校を運営してきたが、今年からは親たちだけではなく教会共同体全体で子どもたちの信仰教育をやっていくという機運が盛り上がってきました。細部について計画中です。

教区・ブロック・小教区の情報を隅々にまで行き渡らせる共同体を目指す。

- ① 情報の共有化は教会共同体にとって重要であり、必要な情報がどこかで停止してはならないと思っています。小教区の情報に限らず、教区・ブロックの情報についても、役員会で討議する事柄以外は先に「お知らせ」と「分別掲示」で皆に周知徹底を図っています。教会委員は役員会の前に教会委員会を行って討議し、担当司祭団と教会委員が意識統一と問題解決の方向性を模索した上で役員会を開催し、役員会においては更に各部署の信徒の意見を聞いてきた部署の代表と討議した上で教会共同体の方向性を決定します。役員会議事録は必ず皆に行き渡るように各世帯のレターボックスに入れ、更に「お知らせ」で重要な箇所について念を押すようにしています。
- ② 集会社式者・聖体奉仕者は現在12名任命されており、定期的に打ち合わせを行っています。病人訪問についてはグループ分けをしていますが柔軟に対応し、情報は常に共有しています。

最初の2年間は試行的な感じでしたが、7年前からは3人の司祭が4教会を担当するという形になり、その後ブロックの編成替えなどを経て現在は2人の司祭が4教会5聖堂を担当しています。

お知らせ

青年センターから

▼高校生春合宿3月31日(木)～
2日(土) メリノールハウス(唐
崎)

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読2日(土)
10時 オヘル師 河原町会館六
階 費用二千五百円(昼食代を含
む)、持参品 聖書・筆記用具・
ノート(お申し込みは三日前まで
に)▼聖書講演会「イエスと共に
歩み分かち合う」ーカリタスの世
界から見た世界の姿ー24日(日)
13時半 河原町教会ウィリアム
ル 講師 菊池功司 会費 五
百円 問合せ075(211) 3
484

◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体
賛美式・主日のミサ 第一日曜日
17時半 河原町教会

地区協議会から

◆奈良カトリック協議会▼正義と
平和奈良協議会 環境問題(その
9)「遣伝子組み換え食品」24日
(日) 14時 富雄教会 発題 西
野猛生師

◆滋賀カトリック協議会▼例会17
日(日) 草津教会

ブロック・小教区から

◆京都コリアンカトリックセンター
▼韓国聖地巡礼の旅18日(月)～
21日(木)

修道会から

◆京都女子カルメル会修道院▼講
演「聖体ーキリストとの親しい交
わりに呼ばれてー」30日(土) 13時
半講演、15時ミサ 講師 大塚喜
直司 電話075(462) 6
764

◆聖ドミニコ女子修道会▼「ロザ
リオを共に祈る会」15日(金) 10
時半▼みことばを聴こう!「私た
ちの平和、キリスト」5月7日
(土) 14時 講師 一場修師 対
象 青年男女 会費三百円 申込
み電話075(231) 2017

教育関係施設から

◆京都ノートルダム女子大学▼入
学式2日(土) 10時
◆ノートルダム女学院中学高等学
校▼入学式6日(水)
◆聖母教育文化センター▼巡礼旅
行 フランチェスコを訪ねて「ア
シジの聖フランシスコとローマ法

こんにちはシスター

ノートルダム教育修道女会
鹿ヶ谷修道院(その一)



さらにその翌年、ノートルダム学
院小学校もこの地で誕生したので
あった。使徒職の場の広がりにつ
れ、修道院も各地にできていった。
現在鹿ヶ谷修道院には十二名の
会員が、いろいろな使徒職に携わ
りながら「一つの心一つの共同体
を築く」努力を重ねている。

Sr メリージェーンは、ノートル
ダム女学院中学校高等学校で宗教
を担当。京都ノートルダム女子大
学手話サークルの指導をしている。
Sr アンドレアは、裏千家茶道教授
として一般の人々に、又、学校茶
道指導者として中高生に、日本文
化、日本の心を教えている。Sr メ
リーアンジェラは、共同体奉仕に
にこやかに従事。特にオルガン伴
奏は共同体の祈りを豊かにしてい
る。Sr ジャネットは、日本地区評
議員。若さとパワー全開。堪能な
英語で国際的にも大活躍。育て上
げたネパールノートルダム校の開
校、再開校への想いは深い。Sr コー
デイスマリーは、女学院で経理を
担当。永年の誠実な勤務に人々の
信頼は篤い。趣味の縫いぐるみ作
りは友人はだしである。

(次号に続く)

戦後間もない一九四八年、古屋
司教様の要請に応え、ノートルダ
ム教育修道女会セントルイス管区
は、四名のシスターを京都に派遣
した。翌年一月、鹿ヶ谷修道院開
設。名刺の点在する東山山麓の歴
史的風土の地、四季折々の美しい
自然の地が、日本における本修道
会発祥の地となった。
修道院の南の地に、一九五二年、
ノートルダム女学院中学校開校、
翌年ノートルダム女学院高等学校、

諸施設・諸活動から

- 王謁見の旅(予定) 9日(土) 15日(金) ▼月曜聖書講座18日 19時 ▼金曜聖書講座22日9時半 ▼いずれも問合せ075(643) 2320
- ◆JOC 働いている青年の集い。集会場所 京都働く人の家(九条教会前)、滋賀働く人の家(大津教会裏)。連絡先090(8207) 1831
- ◆おてんとさんの会 ▼例会第三金曜日13時 西院教会
- ◆京都カトリック混声合唱団 ▼練習日第二日曜日、第四土曜日
- ◆京都カナの会 ▼結婚相談室・例会4月はお休みです
- ◆京都キリシタン研究会 ▼定例会24日(日) 河原町会館六階ホール
- ◆コロチエステ ▼練習日第一、第四木曜日
- ◆子羊会 ▼黙想会5月22日(日) 童安寺聖ヨゼフ修道院 指導 マクドナル師
- ◆在世フランシスコ会京都兄弟会 ▼集会16日(土) 13時半 フランシスコの家
- ◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会 ▼河原町協議会10日(日) ▼中央理事会 ▼24日(日) いずれも河

原町教会

- ◆カトリック聴覚障害者の会京都グループ ▼手話教室14日(木) 13時 河原町会館
- ◆二金会 ▼8日(金) 西陣教会
- ◆糖みその会 ▼28日(木) 19時半 九条教会ホール
- ◆レジオ・マリエ ▼17日(日) 河原町会館六階ホール
- ◆心のともしび4月番組案内 ▼テレビ 主な放送内容
- ▲10日の放送内容 ▼
- 山浦玄嗣氏によるシリーズ初回。医師の山浦氏が四福音書をケセン語(岩手県南部の言葉)に翻訳したのは、その土地の言葉で福音を伝えたいとの強い思いからだった。
- ▼ラジオチーム
- 「約束」 問合せ075(211) 9341
- ◆「二万匹の蟻」運動基金報告 累計 四三、四六〇、〇二八円 (二月十五日現在)
- ◆FAXの設置 ▼福知山教会にFAXを設置しました。番号は、電話番号と同じ、0773(22) 2347です。

聖書講座シリーズ22

マタイ福音書を読む ―神の国のメッセージ・インマヌエルである神―

時間・水曜夜コース 午後7時半～9時 主催・京都教区聖書委員会(電話075-211-3484 FAX075-211-3910)
木曜昼コース 午前10時～正午 場所・河原町教会ヴィリオン(地下)ホール
申込・振替用紙に、夜・昼のコース名と所属を記入 費用・6,000円(20回分)の振込みで、申込みとします。郵便振替口座 00910-9-148401「京都教区聖書委員会」 締切・4月30日(土)

第1回	5月11・12日	入門：マタイの構造とメッセージ	村上 透 磨
第2回	5月18・19日	イエスの幼年物語(第一の序)	1:1～2:23 昌川 信雄
第3回	5月25・26日	イエスの活動の準備(第二の序)	3:1～4:11 北村 善朗
第4回	6月1・2日	宣教開始	4:12～4:25 一場 英修
第5回	6月8・9日	山上の説教の序	5:1～16 市瀬 英昭
第6回	6月15・16日	山上の説教(三種類の命令)	5:17～7:29 小野 十益
第7回	6月22・23日	力ある行為(10の奇跡)	8:1～9:34 伊徒 信子
第8回	6月29・30日	宣教への派遣	9:35～10:42 江川 憲
第9回	7月6・7日	この世の不信仰	11:1～12:50 中川 博道
第10回	7月13・14日	神の国の奥義	13:1～58 鳥巢 義文
第11回	7月20・21日	カファルナウムでの宣教(最初のパンの奇跡)	14:1～15:20 大塚 喜直
第12回	7月27・28日	異邦人の地での宣教(第二のパンの奇跡)	15:21～16:12 小久保 喜以子
第13回	9月7・8日	神の国を生かす信仰(第一の受難予告)	16:13～17:21 絹川 久子
第14回	9月14・15日	神の国の共同体(第二の受難予告)	17:22～18:35 高山 貞美
第15回	9月21・22日	権威についての論争	19:1～20:16 ベ テ ロ
第16回	9月28・29日	エルサレムでの最後の活動(第三の受難予告)	20:17～21:22 沼野 尚美
第17回	10月5・6日	エルサレムでの論争	21:23～23:39 奥村 豊
第18回	10月12・13日	終わりの時に備えて(終末)	24:1～25:46 西 経一
第19回	10月19・20日	新しい過越(最後の晩餐・受難と死)	26:1～27:56 鈴木 信一
第20回	10月26・27日	埋葬・復活・昇天・派遣	27:57～28:20 英 隆一朗

大塚司教の

4月のスケジュール

- 1日(金) 中央協議会年度始業ミサ
中央協部長会
- 2日(土) 京都ノートルダム女子大学入学式10時
村上眞理雄司祭金祝
感謝ミサ(河原町) 14時
- 3日(日) 宣教司牧評議会書記局会議18時
- 4日(月) 聖母学院理事会10時
中央協議会
- 5日(火) 中央協議会
- 6日(水) 中央協議会
- 7日(木) 中央協議会
- 8日(金) 共同宣教司牧推進チーム会議10時半
- 9日(土) 京都南部・東ブロック司教訪問(山科教会)
- 10日(日) 会本部(オーストラリア)訪問
- 11日(月) リック神学院常任司教委員会
- 12日(火) 司教顧問会・責任役員会10時
- 13日(水) 司教顧問会・責任役員会10時
- 14日(木) 司教顧問会・責任役員会10時
- 15日(金) 司教顧問会・責任役員会10時
- 16日(土) 司教顧問会・責任役員会10時
- 17日(日) 三重・南勢ブロック司教訪問(松阪教会)

26日(火) 大阪・京都合同顧問会(京都) 15時

30日(土) 京都女子カルメル会・講演とミサ13時半

福音センターと青年センターの移転

福音センターは三月に河原町会館八階へ、青年センターは四月に西陣青年会館三階へ移ります。(詳しくは、それぞれのコーナーをご覧ください)



◎何故人は言の端にこだわるのか
何故「言」を聞こうとしないのか
何故出来事の「事」にこだわるのか

出来事の言葉のコト見ようとしてない? (MT)

◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、前月の1日までに、教区時報担当宛に FAX 075 (211) 4345 か、henshu@kyoto.catholic.jp に、発信者のお名前を明記してお寄せください。

青年センターより

2003・2004年度専従

柳原朋子

みなさん、こんにちは。柳原朋子です。私が京都カトリック青年センターに勤務してから早くも二年が経ち、ついに退任の時がやってきました。これまでの間、さまざまな関わりの中で私を支えてくださった神父様方や、センターの活動に携わる青年たちに心から感謝いたします。

これからの青年センターは、四月中旬にカトリック西陣教会内に移転するなど、なにか新しいことが起きそうな予感(？)ですが、今までどおり京都教区内の各小教区を始め青年の各諸活動をバックアップするため、活躍してくれることを思います。

また、教区を越える青年の活動について京都教区の窓口となるとともに、青年活動の状況把握とその情報交換の仲介も行っていく予定です。ではその三つの役割をここでご紹介いたします。

【①情報システムのキーステーション】

京都教区内はもちろん、他教区なども含めた青年活動の状況の把握と、それらの情報交換の仲介。機関誌「Giovani」の発行など。

【②広い意味での「相談機関」として】

京都教区の各ブロック(京都北部・京都南部・滋賀・奈良・

三重)、青年諸活動グループが活動する上での様々な情報を集積し、また個人的な相談、精神的支えにもなれるような相談機関としての役割。

【③企画・立案】

個人、小教区、諸活動グループ、青年から上がってくる声に基づいて行事を企画、立案または、協賛する。全国的行事、または、世界的な行事に対して、京都教区として対応するための企画立案。

今年もいろいろな場所から青年たちが集い、活気ある青年センターとなりますように、私も祈り続けたいと思います。それは最後になりましたが、二年間本当にありがとうございました。

青年センターホームページ
http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/

モバイル版ができました。
携帯電話からもご覧になれます。
http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/m/

4月中旬からの新住所
京都市上京区新町通り一条上ル
カトリック西陣教会内
「京都カトリック青年センター」